

令和3年度事業報告 建設業部会

- 1) 事業活動計画、及び事業活動結果について審議・承認し、計画に基づき活動した。(三役会 10回、部会2回開催)
- 2) 建設業部会主催にて、合同部会を2022年2月24日に開催した。参加者155名中建設業部会からは64名が参加した。(WEB方式参加含む。)
- 3) 生産性向上、品質確保、及び環境保全をねらいとした「人づくり」、「場づくり」として、次の活動を行った。
 - ① 機電技術者の交流・育成に資する「場づくり」を行った。(機電技術者交流企画 WG 6回)
 - イ) 2021年10月に第24回機電技術者意見交換会の開催を検討したが、新型コロナ感染拡大防止の観点より開催は見送った。
 - ロ) 2021年10月8日に「交流の場」として『2022年機電技術者のための講演会』を実施した。講演内容は「油圧ショベル自動化AIの開発と実施工」(株DeepX)、「ICT技術を用いた人と重機の接触災害リスク低減システムの開発」(清水建設(株)・株Light Blue Technology)の2題で、直接参加+WEB方式とした。(出席者137名、うちWEB方式120名)

講演の様子、アンケート結果は機関誌2022年3月号部会報告ページに掲載した。
 - ハ) 「育成の場」としての若手現場見学会、夏季現場見学会は新型コロナ感染拡大防止の観点から、リモート現場見学会として2022年2月10日に千代田幹線整備事業工事(奥村・大豊建設共同企業体(特))の協力を得て『令和3年度 若手現場WEB見学会』を開催した。参加者は67名(配信の為の直接参加7名、WEB方式60名)であった。

現場のライブ配信等、見学会の様子は機関誌2022年年4月号の部会報告ページに掲載した。
 - ニ) 「建設業界(機電職)就職活動用ガイド」の2022年改訂に向けて準備を開始した。
- 4) 建設機械の事故防止に資する諸活動を展開した。(クレーン安全情報WG 6回)
 - ① クレーンの事故・災害事例の収集を行い、情報の共有と事例研究を実施した。事故事例をホームページに掲載した。
 - ② タワークレーン等の無線通信や衝突防止について事例研究を行った。
 - ③ 安全教育テキストの改定に向け、クレーン安全教育の実施状況を確認した。
- 4) i-Construction施工の普及とICT施工の安全に資する活動を行った。(建設業ICT安全WG 6回、日建連合同3回)
 - ・ 課題抽出のために実施したアンケート項目を整理し、ホームページ掲載前に最終チェックを行った。